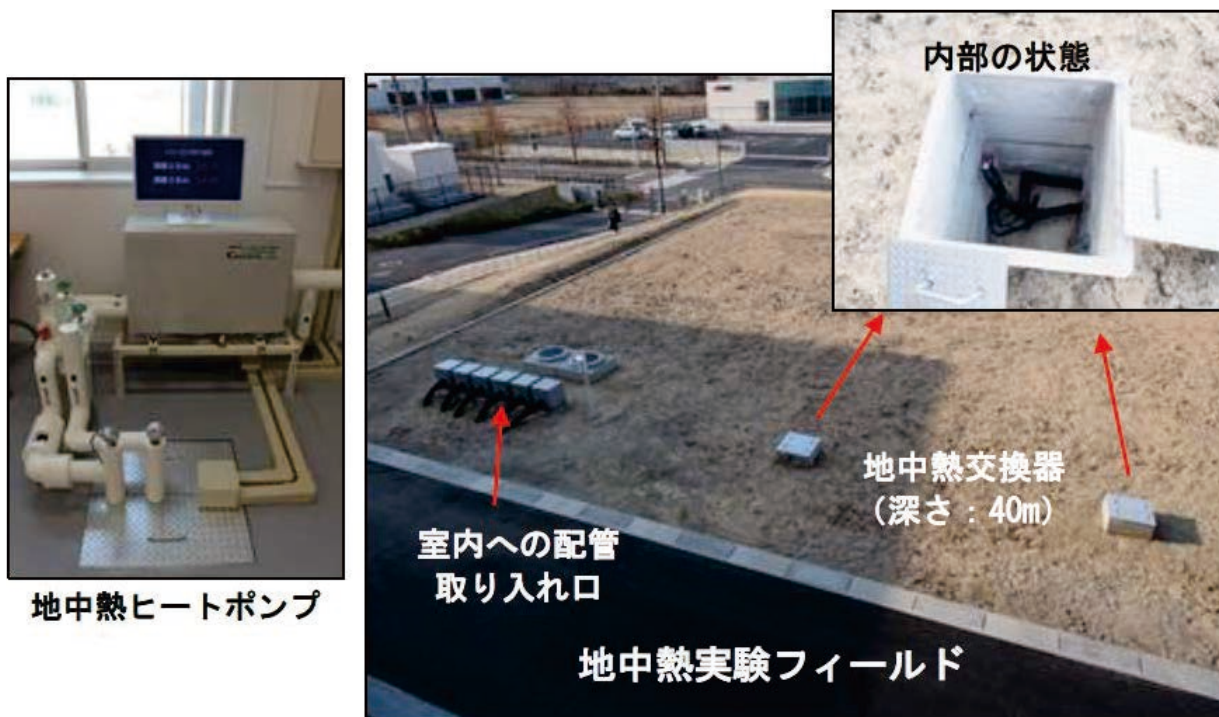


地中熱ポテンシャルマップの作成例(単位:W/m).

福井平野の地下水調査や地質データに基づき、地下水流動と地下温度構造などを正確に表現できる3次元モデルを構築した後、モデル上の福井市を中心に交換量を計算し、地中熱ポテンシャルマップ(右)を作成しました。今後は、福島県を中心とした東方地域で同様なマップを作成します。

出典:吉岡真弓・内田洋平・與田佑季・藤井 光・宮本重信(2010) 地中熱利用適地の選定方法 その2 地下水流動・熱輸送解析を用いた熱交換量マップの作成. 日本地熱学会誌, 32, 241-251.



福島再生可能エネルギー研究所内の地中熱実験フィールド。
つくばセンター・地質標本館と同じ仕様の地中熱システムを導入し、地質や地下水の流れが異なると、地中熱システムにどのような影響を与えるかを実証試験しています。

1) 産総研 再生可能エネルギー研究センター

UCHIDA Youhei and YASUKAWA Kasumi (2014) Overview of research activities in Shallow Geothermal and Hydrogeology Team(SGHT), FREA.